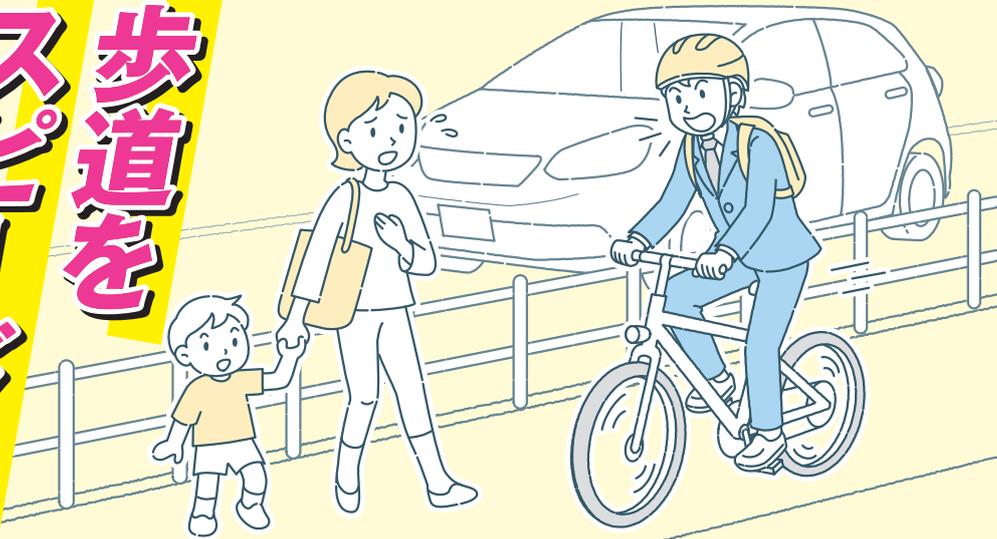
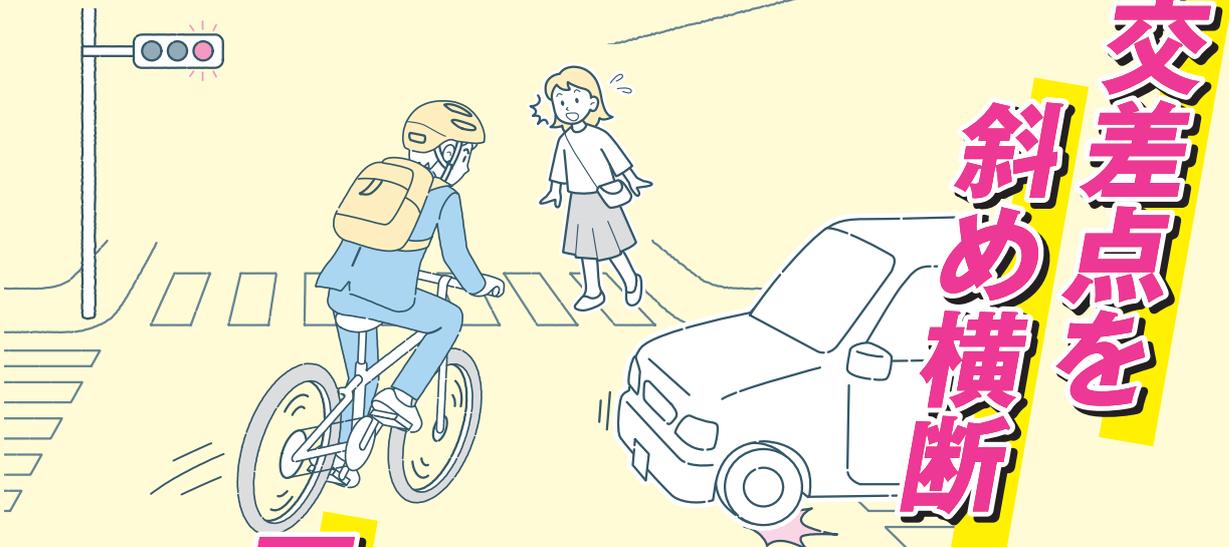


こんな場面を見ませんか？  
こんな運転をしていませんか？

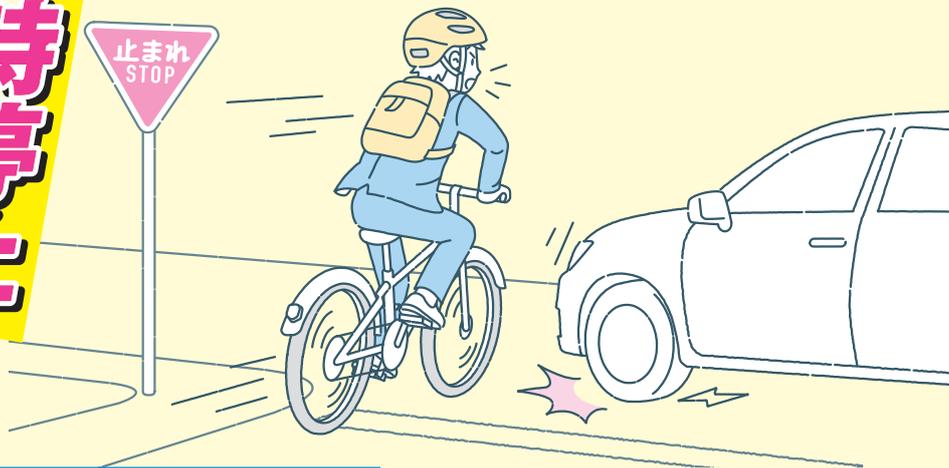
歩道を  
スピードを  
出して通行



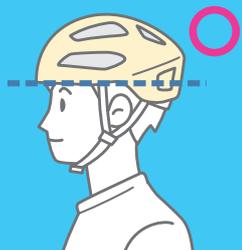
交差点を  
斜め横断



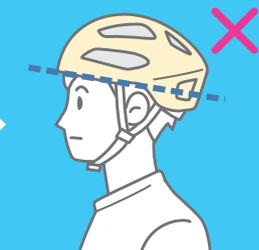
一時停止  
しない



ヘルメットも正しく着用しましょう



①正しい角度で着用  
ヘルメット本来の機能を発揮するためには、正しい角度での着用が必要です。



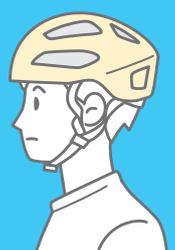
②左右均等  
ヘルメットの先端がまゆ毛の上にくるように角度を合わせます。(額を出さない) 左右の傾きがないかも確認します。



③あご紐の調整  
あごとあご紐の間に指を1~2本入れられるくらいに紐の長さを調整します。バックルもしっかり締めます。

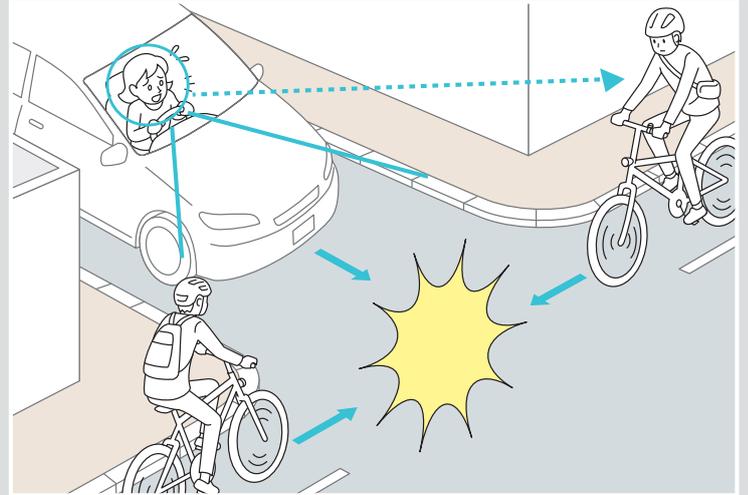
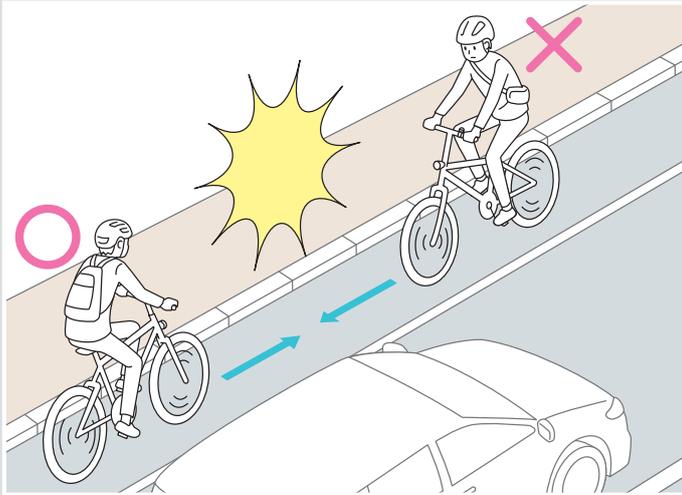


④最終チェック  
耳元のねじれやたるみがないかしっかり確認します。



# 車道の左側を通行

自転車は車道の左側を走るのが基本(原則)です。右側通行は向かってくるクルマ等と正面衝突する危険があります。また、クルマのドライバーは左から来るクルマに注意を払いがちなため、自転車の発見が遅れ、事故につながりやすくなります。

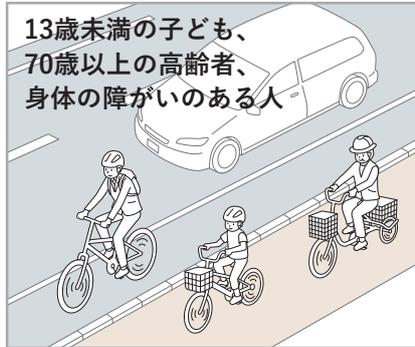


例外的に歩道を通行できるのは、おもに次の場合です。

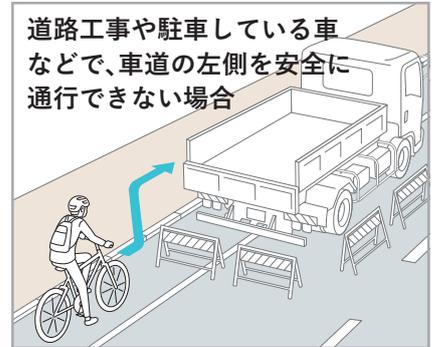
標識や標示があるとき



13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体の障がいのある人



道路工事や駐車している車などで、車道の左側を安全に通行できない場合

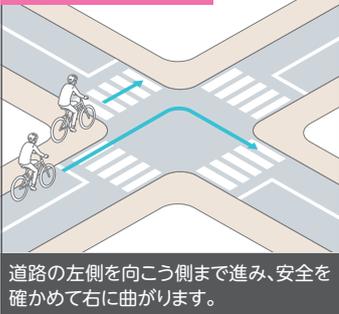


# 交差点の通行方法

車道通行時はクルマ用の信号、歩道通行時は歩行者用信号に従います。自転車横断帯があるときは、車道走行時でも横断帯を通行します。

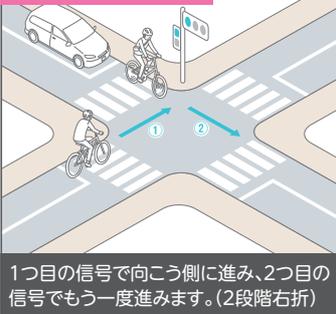
## 交差点で右折するとき

信号機のない交差点



道路の左側を向こう側まで進み、安全を確かめて右に曲がります。

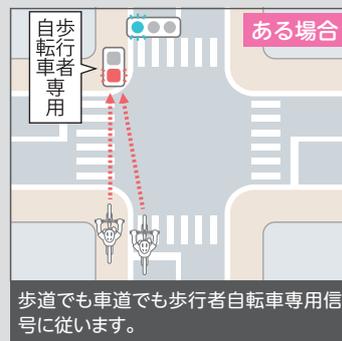
信号機のある交差点



1つ目の信号で向こう側に進み、2つ目の信号でもう一度進みます。(2段階右折)



歩行者自転車専用信号機がある交差点



歩道でも車道でも歩行者自転車専用信号に従います。



歩道を通行中は歩行者用信号、車道ではクルマ用の信号に従います。

熊本市内でも交差点での事故が多く発生しています。周囲の歩行者やクルマに気を配り、安全運転を心がけましょう。

## 自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

自転車の交通指導取締り強化中！

